

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	整形外科科学1	
科目基礎情報					
開設学科	柔道整復科	コース名		開設期	前期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	教科書は「整形外科科学」を持参する。その項目ごとに資料を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	高橋 慎一		実務経験の有無・職種	有・医師	
学習目的					
柔道整復師は医療資格であり、資格取得後に患者の患部へ施術をすることを業務とするが、応急手当てを除き骨折・脱臼の施術については医師の同意を得る必要がある。整形外科科学は運動器の医学であり、取り扱う部位は脊柱・骨盤・四肢である。対象組織は骨・関節・筋・靱帯・脊髄・神経であり、これらの組織の外傷・障害・炎症・先天異常・腫瘍・変性疾患・代謝疾患・骨系統疾患を診断・治療・研究する学問である。柔道整復師を志す学生が整形外科科学を学ぶことで医師との連携を密にすることのできる人材の育成がこの科目を受講する目的となる。					
到達目標					
柔道整復師は外傷の保存治療だけでなく、運動器全体の知識すなわち整形外科科学全般についても基本的な知識を持つ必要がある。この科目を学ぶことで、整形外科的検査法や整形外科の治療法をはじめ、スポーツ整形外科領域やリハビリテーションについて理解を深めることができる。柔道整復師と整形外科医とが連携して運動器の治療に当たることが出来ることで、柔道整復師の日常における施術にて注意が求められる必要な知識の土台が形成されることを目標にしている。					
教育方法等					
授業概要	教科書を中心として授業を進める。整形外科として取り扱う外傷・症状・診断・治療について学ぶことで柔道整復師の業務範囲として求められる知識量に配慮し、臨床現場において必要な能力を育成する。				
注意点	国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の1以上欠席した者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	100%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	整形外科とは		整形外科の意義・内容・歴史について理解する		
2回	運動器の基礎知識		骨・関節・筋・靱帯・腱の種類・構造・機能について理解する		
3回	整形外科診察法①		姿勢・バランス・上下肢長と周径・跛行（異常歩行）について理解する		
4回	整形外科診察法②		徒手筋力テスト・知覚の診断・反射（深部反射・表在反射・病的反射）について理解する		
5回	整形外科検査法		画像検査・骨密度測定・電気生理学的検査・関節鏡検査・超音波検査について理解する		
6回	整形外科の治療法		保存療法・観血的治療について理解する		
7回	骨・関節損傷総論		骨折・関節損傷（捻挫や脱臼）について理解する		
8回	前期7週までの振り返りと確認演習		1回～7回の知識が蓄積されているか確認する		
9回	スポーツ整形外科総論		スポーツ整形外科の位置付けとスポーツや学校体育での外傷・障害の各種統計について理解する		
10回	リハビリテーション総論		変形（拘縮）や術後ならびにスポーツにおけるリハビリテーションについて理解する		
11回	疾患別各論①		感染性疾患・骨および軟部腫瘍・非感染性軟部疾患について理解する		
12回	疾患別各論②		骨関節疾患・全身性の骨や軟部疾患・骨端症について理解する		
13回	疾患別各論③		四肢循環障害・神経や筋疾患について理解する		
14回	前期13週までの振り返りと確認演習		9回～13回の知識が蓄積されているか確認する		
15回	まとめ		半期で取得した知識の確認		